

鋼 船 規 則

鋼 船 規 則 検 査 要 領

R 編

防火構造, 脱出設備 及び消火設備

鋼船規則 R 編
鋼船規則検査要領 R 編

2008 年 第 1 回 一部改正
2008 年 第 1 回 一部改正

2008 年 2 月 27 日 規則 第 9 号 / 達 第 5 号
2007 年 11 月 30 日 技術委員会 審議
2007 年 12 月 25 日 理事会 承認
2008 年 2 月 14 日 国土交通大臣 認可

鋼船規則

規則

R 編

防火構造, 脱出設備及び消火設備

2008 年 第 1 回 一部改正

2008 年 2 月 27 日 規則 第 9 号

2007 年 11 月 30 日 技術委員会 審議

2007 年 12 月 25 日 理事会 承認

2008 年 2 月 14 日 国土交通大臣 認可

「鋼船規則」の一部を次のように改正する。

R 編 防火構造, 脱出設備及び消火設備

10 章 消火

10.4 固定式消火装置

10.4.1 一般

-5.として次の 1 項を加える。

-1. 別段明記されない限り, **10.4** の規定は, **10.5**, **10.7** 及び **10.9** の規定で要求される固定式消火装置に適用する。

-2. 本章の規定により要求されることのない固定式消火装置を設ける場合, 当該装置は, この章及び本編 **22** 章以下に規定される設備要件の関連規則に適合するものでなければならない。

-3. ハロン 1211, 1301, 2402 及び過フッ化炭化水素を使用する固定式消火装置は設けてはならない。

-4. 原則として, 固定式ガス消火装置の消火剤として蒸気を使用してはならない。本章により要求される消火装置の追加として, 限定された場所においてのみ使用するものとして, 本会が蒸気の使用を認める場合には, 当該装置は, 本編 **25** 章に規定される設備要件の該当する規定に適合するものでなければならない。

-5. 異なる場所を保護するための複数の固定式水系消火装置 (**10.6** の規定で要求される消火装置を含む。) でポンプ装置を共有する場合にあっては, 消火装置, ポンプ装置等から構成されるシステムについて, いずれかの消火装置における損傷又は故障によりその他の消火装置が機能不全となることを防止するために, 適切な措置を講じなければならない。

附 則

1. この規則は、2008 年 4 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。

* 建造契約とは、IACS Procedural Requirement (PR) No.29(Rev.4)に定義されたものをいう。

IACS PR No.29(Rev.4)

英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Notes:

1. This Procedural Requirement applies to all IACS Members and Associates.
2. This Procedural Requirement is effective for ships “contracted for construction” on or after 1 January 2005.
3. Revision 2 of this Procedural Requirement is effective for ships “contracted for construction” on or after 1 April 2006.
4. Revision 3 of this Procedural Requirement was approved on 5 January 2007 with immediate effect.
5. Revision 4 of this Procedural Requirement was adopted on 21 June 2007 with immediate effect.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。

オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから 1 年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。

3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考:

1. 本 PR は、全ての IACS メンバー及び準メンバーに適用する。
2. 本 PR は、2005 年 1 月 1 日以降に“建造契約”が行われた船舶に適用する。
3. 本 PR の Rev.2 は、2006 年 4 月 1 日以降に“建造契約”が行われた船舶に適用する。
4. 本 PR の Rev.3 は、2007 年 1 月 5 日に承認され、これは直ちに効力が生じる。
5. 本 PR の Rev.4 は、2007 年 6 月 21 日に採択され、これは直ちに効力が生じる。

鋼船規則検査要領

R 編

防火設備, 脱出設備及び消火設備

要
領

2008 年 第 1 回 一部改正

2008 年 2 月 27 日 達 第 5 号
2007 年 11 月 30 日 技術委員会 審議

2008 年 2 月 27 日 達 第 5 号
鋼船規則検査要領の一部を改正する達

「鋼船規則検査要領」の一部を次のように改正する。

R 編 防火構造, 脱出設備及び消火設備

R10 消火

R10.4 固定式消火装置

R10.4.1 として次の 1 条を加える。

R10.4.1 一般

規則 R 編 10.4.1-5.の適用上, 複数の固定式水系消火装置 (貨物区域用のものを除く。)
でポンプ装置を共有する場合には, 次の(1)から(5)に掲げる条件に適合すること。

- (1) 各々の消火装置が, 単独で作動する場合に, それぞれの消火装置について要求される性能要件を満足すること。
- (2) 動力装置及び制御装置における単一の機器に故障又は損傷が生じた場合においても, ポンプ装置による給水量は, 消火装置が保護するいずれの場所に対して要求される水量を下回らないこと。(例えば, 要求される給水量の 100%を供給可能なポンプ装置を 2 組又は 50%を供給可能なポンプ装置を 3 組備え, それぞれのポンプ装置を独立に起動できるようにする。) なお, 遠隔起動が要求される場合の遠隔制御装置については, バックアップ機構を備えることを要しない。
- (3) 動力装置及び制御装置における典型的な故障及び損傷について, 継続的に乗員が配置される制御場所に警報を発するものとする。また, このような故障又は損傷の際に, 消火装置が保護する場所の外部においてシステムを手動にて操作することが可能なものとする。
- (4) システムを構成する機器は, いずれかの消火装置の保護する場所における単一の故障又は損傷 (管装置の破裂を含む。) により, その他の場所の消火装置が作動不能とならないように配置すること。
- (5) それぞれシステムの機能を担保し得る 2 系統の動力及び吸水口を備え, それぞれを A 級仕切りにより分離された異なる区画に設置すること。

R10.5 機関区域の消火設備の配置

R10.5.5 固定式局所消火装置

-2.を次のように改める。

- 1. 規則 R 編 10.5.5-2.において, 「本会の適当と認めるもの」とは, 次の(1)又は(2)のいずれかに該当する消火ノズルを備える, MSC/Circ.913 “Guidelines for the approval of fixed

water-based local application fire-extinguishing systems for use in category A machinery spaces”
に従った装置をいう。

- (1) 船舶安全法第 6 条第 3 項（予備検査）又は第 6 条の四第 1 項（型式承認）の規定に基づく検査又は検定に合格したもの
- (2) 財団法人日本舶用品検定協会の行う検定に合格したもの

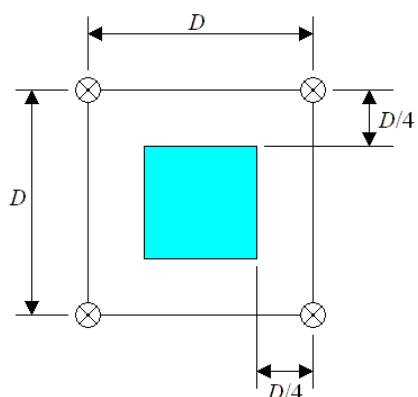
-2. ~~固定式局所消火装置が前-1.に掲げる MSC/Circ.913 に基づく試験により決定された設置条件から外れて結果により規定される固定式局所消火装置の消火ノズル配置は次の~~
(1)又は(2)によること。下記以外の配置で取付けられる場合、本会が必要と認める追加の消火試験によりその有効性が確認されること。

- (1) MSC/Circ.913 の附属書付録の 3.3.2.1 から 3.3.2.3 に規定される火災試験に合格した装置の消火ノズルを使用する場合
 - (a) 格子状に配置する場合： 図 R10.5.5-1.による。
 - (b) 一列に配置する場合： 図 R10.5.5-2.による。
 - (c) 単独で使用する場合： 図 R10.5.5-3.による。
- (2) MSC/Circ.913 の附属書付録の 3.3.2.3 から 3.3.2.5 に規定される火災試験に合格した装置の消火ノズルを使用する場合
 - (a) 格子状に配置する場合： 図 R10.5.5-4.による。
 - (b) 一列に配置する場合： 図 R10.5.5-5.による。
 - (c) 単独で使用する場合： 図 R10.5.5-3.による。

(-3.から-12.は省略)

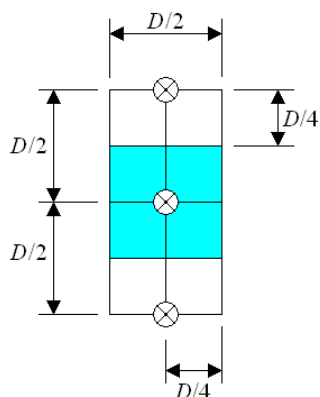
図 R10.5.5-1.から図 R10.5.5-5.として次の 5 図を加える。

図 R10.5.5-1.



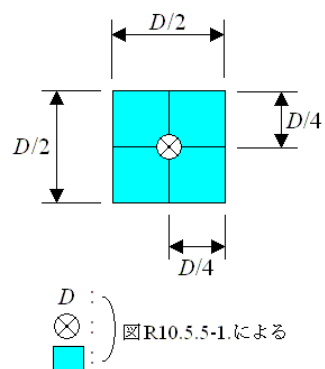
D : 消火試験により認められた消火ノズルの最大間隔
 \otimes : 消火ノズル
 \blacksquare : 消火ノズルにより保護される場所

図 R10.5.5-2.



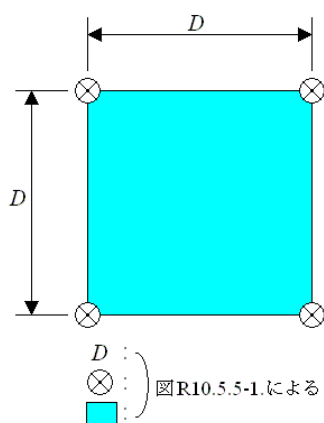
D :
 \otimes : 図 R10.5.5-1.による
 \blacksquare : 図 R10.5.5-1.による

図 R10.5.5-3.



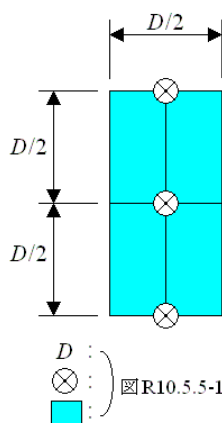
D :
 \otimes : 図 R10.5.5-1.による
 \blacksquare : 図 R10.5.5-1.による

図 R10.5.5-4.



D :
 \otimes : 図 R10.5.5-1.による
 \blacksquare : 図 R10.5.5-1.による

図 R10.5.5-5.



D :
 \otimes : 図 R10.5.5-1.による
 \blacksquare : 図 R10.5.5-1.による

附 則

1. この達は、2008 年 4 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。

* 建造契約とは、IACS Procedural Requirement (PR) No.29(Rev.4)に定義されたものをいう。

IACS PR No.29(Rev.4)

英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Notes:

1. This Procedural Requirement applies to all IACS Members and Associates.
2. This Procedural Requirement is effective for ships “contracted for construction” on or after 1 January 2005.
3. Revision 2 of this Procedural Requirement is effective for ships “contracted for construction” on or after 1 April 2006.
4. Revision 3 of this Procedural Requirement was approved on 5 January 2007 with immediate effect.
5. Revision 4 of this Procedural Requirement was adopted on 21 June 2007 with immediate effect.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

1. 本 PR は、全ての IACS メンバー及び準メンバーに適用する。
2. 本 PR は、2005 年 1 月 1 日以降に“建造契約”が行われた船舶に適用する。
3. 本 PR の Rev.2 は、2006 年 4 月 1 日以降に“建造契約”が行われた船舶に適用する。
4. 本 PR の Rev.3 は、2007 年 1 月 5 日に承認され、これは直ちに効力が生じる。
5. 本 PR の Rev.4 は、2007 年 6 月 21 日に採択され、これは直ちに効力が生じる。